7 自然災害からくらしを守る

台風 23 号による大手川のはんらん（2004 年）

台風 23 号による土砂災害（2004 年）

〔写真 2 点：京都府〕

1 風水害からくらしを守る

水につかった宮津小学校旧正門

台風のあとに出たごみ

大手川のはんらん

宮津市は 2004（平成 16）年の台風 23 号によって、大きなひがいを受けました。大手川がはんらんし、市の中心のほぼすべてが水につかりました。山がくずれて住たくに流れこむ土砂災害も起こりました。

写真を見て気づいたことを話し合いましょう。

「学校の門が水につかるぐらい、多くの雨がふったんだね。」

「水につかった家具や電化せい品は使えなくなってしまうんだね。」

2002 年の大手川

2020 年の大手川

宮津市の風水害対さく

「上の写真は、どちらも大手川だよ。川岸の様子が変わったね。」

「2004 年の台風 23 号と関係があるのかな。調べてみよう。」

市役所の人の話

宮津市では台風 23 号によるひがいを受け、風水害からくらしを守るための取り組みに力を入れてきました。大きな台風が来ても大手川がはんらんしないように、ていぼうをつくったり、川はばを広くしたりする工事を行ってきました。

〔京都府の事業〕

このほかに学校や通学路などで、自然災害にそなえたものがあるか調べてみましょう。

ていぼうが整びされた大手川上流

辻川樋門（宮津小学校グラウンド前） 大手川の水位が高くなったときに水があふれるのをふせぐ門です。

大手川の水量をしめす標しき（京口橋）

宮津市防災きょ点しせつ

びちく倉庫にほかんされている食料や毛布

2 宮津市の取り組み

災害にそなえて

地震や津波、大雨やこう水などの災害にそなえるために、宮津市ではどのような対さくをしているのでしょうか。

ひなんする場所は、宮津市のホームページでかくにんできるよ。

ひなん場所をしめす標しき

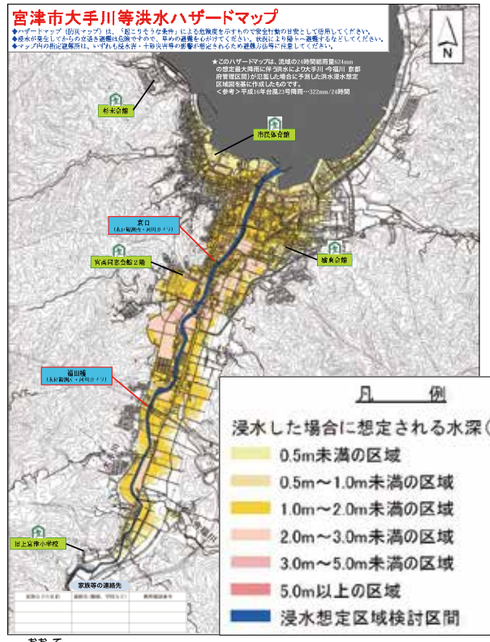
宮津市の指定ひなん所・ひなん場所

市役所の人の話

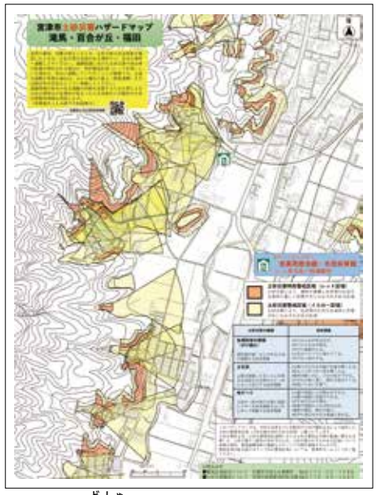
宮津市では、災害が起きたときにどのように対応するかなどを地いき防災計画に定めています。この計画では、けいさつや消防、自衛隊とどのように協力するかを決めています。

宮津与謝消防しょには災害が起きたときに対さく本部をおく、防災きょ点しせつがあります。しせつの中にはびちく倉庫があり、食料や毛布などをほかんしています。

また宮津市では、大型台風が近づくなど災害にけいかいするときは、公民館などに市民がひなんできるところを開設します。



大手川こう水ハザードマップ



宮津市土砂災害ハザードマップ

正しいじょうほうを伝えるために

宮津市では災害でのひがいを想定し、地いきのひなんについてのじょうほうをのせた、ハザードマップなどをつくって市民に配ったり、自治会で防災計画をつくるときに協力したりしています。

また、メールや防災スピーカーなどで防災じょうほうを市民に発信しています。

災害が起こりそうなときに自分がどんな行動をとるべきか、考えておきましょう。

宮津市防災メール

防災スピーカー